

「赤磐市障害者自立支援協議会（ピーチネットあかいわ）」とは？

赤磐市に住んでいるすべての障がいのある人が幸せに暮らしていくために、当事者やその家族、支援者、行政など、さまざまな関係者が集まり、話し合い、行動していく協議会です。



令和7年度全体会・研修会

6月26日（木）13:15～15:30 in赤磐市立中央図書館多目的ホール

全体会を対面にて開催し、前田市長のご挨拶の後、令和6年度の事業報告及び決算、令和7年度の事業計画及び予算案、新役員が承認されました。



「研修会」 つながろうや～私たちにできること～

「AMDAの活動から学び、行動しよう」と題してトークセッションを行った後、参加者各自が「気づいたこと」「日頃思っていること」「大切だなと思ったこと」を本音で話し合い、自由に意見交換、情報交換しました。これからの活動に対して新たなアイデアや気づきを得ることができました。

①活動するにあたり心がけていることは何ですか？
②有事に備えてやっておくべきことは何ですか？



赤磐市障害者自立支援協議会副会長 西田典子氏

①エレガンス&タフネス（柔軟性と強さ）
本当の優しさは強さが無いといけない。
②それぞれ状況が違うが、日常できていないことは非常時にできない。
準備（自助）ができていないことは人災！
生きることをあきらめない、生きることは尊い、そのために自分たちが何ができるか…



特定非営利活動法人AMDA副理事長 難波妙氏

令和7年度の活動報告

★くらす部会

9月5日に部会カフェにて、余暇についての意見交換を行いました。外出先で受けることができた配慮など、経験を踏まえた情報交換も行うことができました。10月27日に消防署とくらし安全課のご協力の下、まちづくり部会と合同防災部会を行うことができました。地震車に来てもらい地震の揺れを実際に体験することができ、防災に対してより意識を高める機会となりました。1月28日に「にも包括」について研修を行いました。グループワークでは資源整理をしながら、活発な意見交換や貴重な情報共有の場にもなりました。

部会活動を通じてお互いがつながりながら、誰もが住みやすい地域になっていくためのお手伝いのできたらと思います。



★そだつ部会

令和7年度は全体で2回の部会を行いました。日常のひとコマにおける「できた！」の積み重ねを大切にできる視点や、支援のヒント、声掛けの工夫、スモール（バイビー）ステップの考え方を共有し、支援者・保護者が日々を振り返る貴重な時間となりました。会場は終始笑顔に包まれ、温かな雰囲気の中で学びを深めました。また、『りんステファイル』の活用を参加者でグループワークをして考えたり、支援のみならず災害時にも活用できるための意見交換を行い、りんくステーション窓口での配布を想定した具体的な活用イメージを共有しました。いずれも保護者・支援者・相談支援専門員・行政担当者等々、それぞれの立場の方が思い思いの時間を過ごされていました。



★はたらく部会

福祉就労フェアについて、昨年までの反省点をもとに今年は開催時期や会場レイアウトを変更しました。来場者数は他のイベントと重なった事もあり、昨年よりも少なくなりましたが、当事者の方より事業所の事を知れて良かったと声をかけていただきました。来場者数よりも内容重視でより良いフェアにしていきたいと思っています。事業所紹介冊子「つなぐあかいわ」も最新情報に変更してフェアで配布しました。今後は年度版として毎年4月頃最新版を発行出来るように準備していく予定です。



★まちづくり部会

令和7年度は、6年度に行った井戸端カフェ①重度心身障害児者、医療的ケアが必要な人たち ②グレーゾーンと思われる子どもたち ③精神障害のある人たち、の生活について語り合おうを引き続き開催しました。参加者の立場は、どの井戸端カフェも6年度より広がり、6年度に浮き彫りになった課題についても、いろんな人たちで共有し、お互いの考えや思いを語る事ができました。また、ピーチネットあかいわの運営委員の井戸端カフェや、くらす部会と合同防災部会も実現することができました。



★権利擁護ワーキンググループ

令和7年11月21日、赤磐市立中央図書館、多目的ホールにて権利擁護ワーキング研修を開催しました。今回はパブリック友の会から講師の方々をお招きし「親がいるうちに“見えない不安”を“見える不安”に変える今できる一歩」というテーマで講義をしていただき、グループワークでは3つのテーマに分かれて意見交換をおこないました。講師の方の「30年後、誰が我が子を支援してくれているか、どのように支援してもらいたいのか」という言葉や、参加者の方々からの「友の会の活動内容を知ることができた」「気持ちよくなった」「後見制度の知識が深まった」などのお声をいただいたことで、今後の関わりを見つめ直すきっかけになったと思います。



パブリック友の会から講師4名の方々に来て頂き、グループワークを開催

★青年部ワーキンググループ

青年部ワーキンググループはピーチネットあかいわ所属の各事業所から有志の人にご参加いただき、活動しているグループです。今年度は12月6日（土）に開催されたあかいわマルシェの来場者のかたに、啓発資料や市内事業所のご利用者がつくられた作品等をお渡しし、障害者週間の啓発活動を行いました。青年部ワーキンググループに興味のあるかたは、事務局にお問い合わせ下さい。



ピーチくんの豆知識【『にも包括』とは】

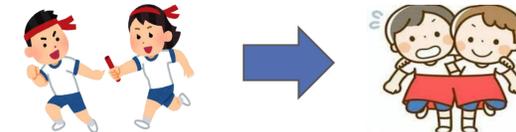
<精神障害にも対応した地域包括ケアシステム>

社会福祉課 三村ゆかり

精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労など）、地域の助け合い、普及啓発（教育など）が包括的に確保されたシステムのことであり、地域共生社会の実現に向かっていく上で欠かせないものです。（厚生労働省「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援情報ポータル」より抜粋）

<「にも包括」構築に向けて>

- ★地域の強みと課題を共有し、支援の在り方や具体的な取り組みを検討。
- ★支援や連携を通じて、地域で「相談してみようかな」と思える顔の見える関係づくり。



気づき（バトン）を渡して終わりではなく、「でかパン」の中に入る支援者を増やし、市民みんなが安心して自分らしく暮らせる「赤磐市にも包括」を作っていきましょう！



★春15（いちご）の会

特別支援教育のニーズのある子どもたちの進路（中学卒業後）について、今年度は備前市が事務局を担当し、赤磐市、瀬戸内市、備前市、和気町、東備地域自立支援協議会の共催で実施しました。8月23日（土）に備前市立日生中学校にて情報交流会を、8月8日（金）～11月28日（金）までYouTube動画配信を予定通り行いました。来年度も引き続き実行委員会が主体となり、令和8年8月29日（土）に行う予定で進めていきます。

役員

任用期間：令和7年～令和8年

- ・有識者 小田 桐 早苗（川崎医療福祉大学）
- ・会長 西村 公夫（天心寮）
- ・副会長 西田 典子（知的障害者相談員）
- 金谷 将弘（わかたけ作業所）
- ・くらす部会 部会長 黒田 信介（ともにあかいわ相談支援事業所）
- ・そだつ部会 部会長 上江 達也（むすび桜が丘）
- ・はたらく部会 部会長 一柳 美加（ドリーム・プラネットあかいわ）
- ・まちづくり部会 部会長 西田 典子（知的障害者相談員）

新規事業所

構成団体の仲間が増えました！

デイサービスセンターともにあかいわ：生活介護

【通信に関するお問い合わせ先】

- 赤磐市障害者自立支援協議会事務局
- 赤磐市役所 りんくステーション
- 連絡先
- 電話：086-955-0555